

ハッと発達

環境づくり編

発達障がい教育室では、小・中学校、高等学校等の通常の学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育の経験が浅い先生に向けて、発達障がいのある児童生徒への指導や支援の取組のヒントとなるよう「発達障がい教育室だより『ハッと発達』」を発行しました。第1号は環境づくりのコツについてお知らせします。

登場人物紹介



ぷりまる先生

通常の学級の担任 ベテラン
特別支援教育についてまだまだ勉強中

円山くまお先生

今年採用になった先生
通常の学級を担当している

発達ノビ子先生

特別支援教育コーディネーター
経験豊富なベテラン

① うちのクラスのAさん
授業中全く話聞くことができないんだよね
そうなんだー

② ぷりまる先生は最近視覚的な支援
を行ってることって言ってたし、
Aさんも「教室にスケジュール
があって分かりやすい」って
話してたけどどうしたのかな？

③ こ、この刺激の
多さは・・・

めあて
あまりのあるわり算がわかる
 $17 \div 5 =$
5つのまとまりが3こできる

④ ぷりまる先生、Aさんが集中して
話を聞くための環境づくりには
ポイントがありますよ。

そうなの！？Aさんが話を聞くこ
とが難しいのは特性があるからだ
と思ってた!!

⑤ 環境づくりのポイント

- 環境刺激の量を整える

(例)

 - ・黒板周りはすっきりとする
 - ・授業用の黒板と提示用の黒板を使い分ける
 - ・教卓に余分なものは置かない
(**子どもの目線で不要な物は視界に入れない**)

「通常の学級で実践できる！みんなが『分かる』、『できる』授業づくり取組事例」
(令和6年3月 北海道教育委員会)

なるほど！
視覚的に示せばいいという訳では
なく、集中できる環境になってい
るかどうかが重要なんだね！